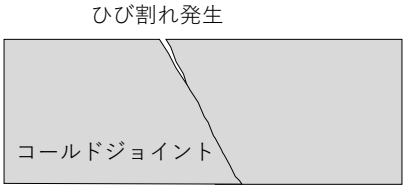

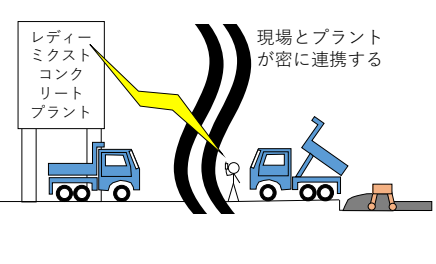
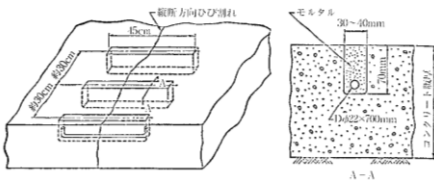


発生箇所	③コンクリート版表面, ⑤コンクリート版内部
分類	材料・施工
参考箇所	4-8-2 コンクリートの製造と運搬
<p><b>●内容</b></p>	
<p>・ 施工中に機械トラブルが発生し、施工が一時中断した箇所において、コンクリートの先行打設部と後打部の間にコールドジョイントが発生した。</p>	 <p>ひび割れ発生</p> <p>コールドジョイント</p> <p>断面図</p>
<p><b>●原因</b></p>	
<p>・ 施工機械の故障による中断や、レディーミクストコンクリート工場からのコンクリート運搬が、施工計画通りに運搬できないことなどの理由で、施工中断時間が長くなった。(待機時間・施工中断時間が長くなると、スランプロス等、コンクリートのワーカビリティが悪くなり打継ぎ部の一体化が不十分となる。)</p>	 <p>想定外の待機等でスランプロスが発生、コールドジョイントが発生</p> <p>待機ダンプトラック</p>
<p><b>●発生防止策</b></p>	
<p>・ 施工計画に基づく、レディーミクストコンクリート工場との配車計画の事前打合せ及び施工当日の施工状況・現場状況など密な連絡を行う。</p> <p>・ スランプ・空気量が目標範囲内であっても目視によるコンクリートの確認を行い、状態に応じて締固め条件の変更や、使用可否の判断を行う。</p>	 <p>レディーミクストコンクリートプラント</p> <p>現場とプラントが密に連携する</p>
<p><b>●発生した場合の対応策</b></p>	
<p>・ 荷重伝達機能が低下している場合はバーステッチなどにより荷重伝達機能の回復を図る。さらに、段差などが発生している場合は局部打換えを行う。</p>	 <p>縦断方向のひび割れ</p> <p>15cm</p> <p>20~40mm</p> <p>コンクリート断面</p> <p>A-A</p> <p>バーステッチ</p>